

# 結心

# 翼が

## 姉妹都市20周年

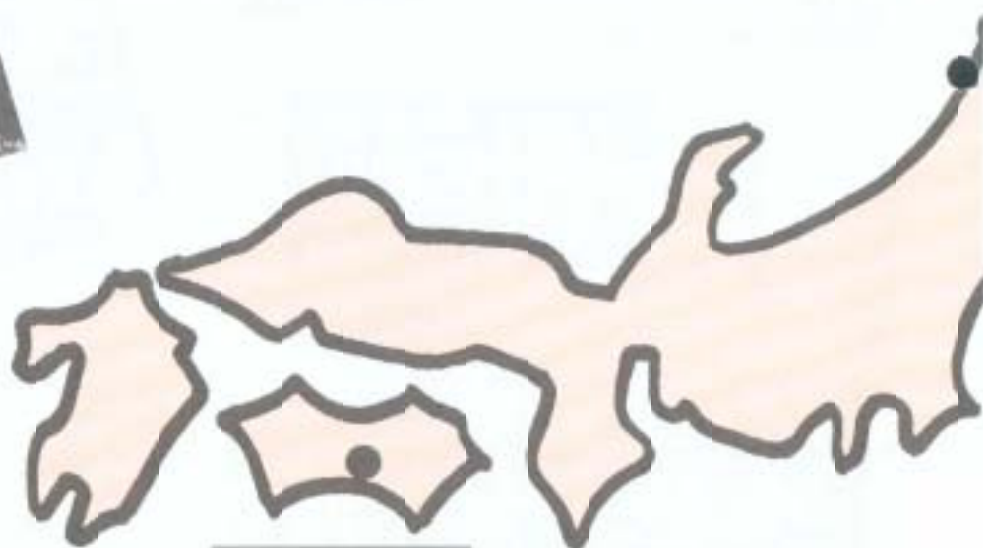


今から二十数年前、民間空港連絡協議会に当時の金草南国市長が出席したさい、岩沼の方と個人的な交流があったこともあり、古川岩沼市長と息投合、県都に近い空港都市、水産豊かな河川のもとに広がる日園地帯など、互いの行の様子に似ていることから、姉妹都市枠組みを、という話になりました。その後、話はトントン拍子に進み一九七三年七月、姉妹都市提携を結び交流が始まりました。

現在、高知空港と仙台空港の直行便が出ていませんが、将来、高知・仙台定期便の就航によって、より多くの市民同士の交流が実現することを願います。



歴史民俗資料館(上)、西島園芸園地など、南国市の観光地を見学する岩沼市市民親善交流団の方々



南国市



### 宮城県岩沼市



戦国時代、東北の一大勢力伊達藩藩主、宮城県、福島県など広大な領地を掌握した独眼竜、伊達政宗。

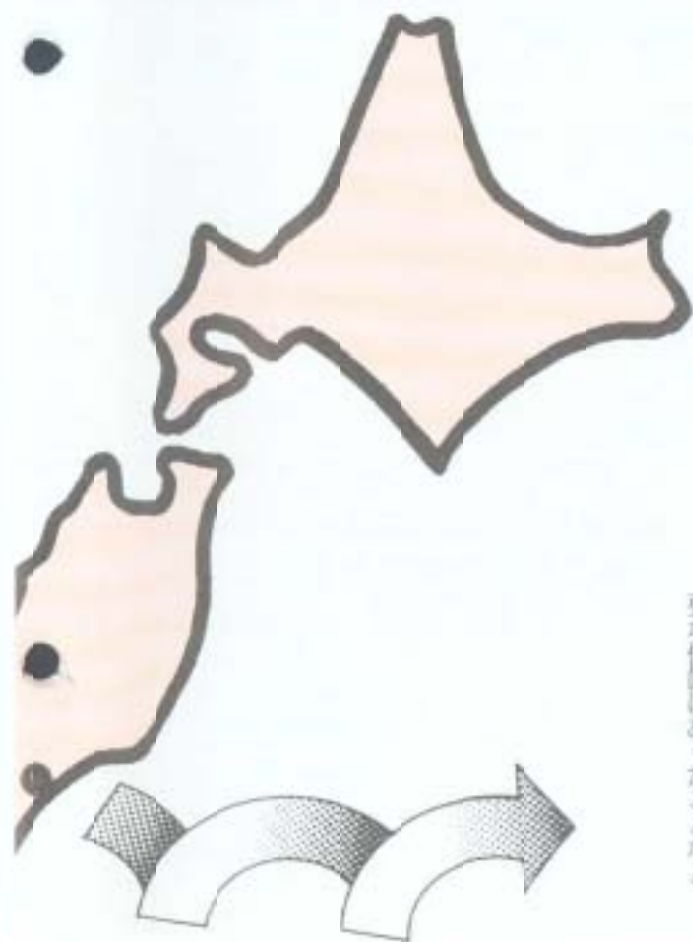
人口 約三万八千人  
面積 五十九・二平方キロ

岩沼市は、東北の中心仙台市の南に位置する空港都市で、昔から交通の要衝地として、また、日本三大稲荷の一つ竹駒神社の門前町として栄え、現在も国道四号線、六号線の交流点という陸、空の要衝として発展してきました。

その歴史は古く、昔「武蔵の里」と呼ばれていたところで、陸奥の国府がおかれたと伝えられています。戦国時代には伊達藩の南の牙城として、重要な位置にあったことなど。



5月10日 南国市から早乙女として末改恵さん、岩本真紀さんが参加した竹駒神社御田植祭



南国市の比江国衙、岡豊城跡などがあります。

昭和三十年四月一日、旧岩沼町、玉浦村、千鳥村が合併し岩沼町が誕生しました。その後、都市化の進展により、昭和四十六年十一月一日、市制が施行され、岩沼市が誕生しました。

現在、阿武隈川河口に広がる肥沃な平野を利用した農業、恵まれた交通立地条件による企業の進出など、田園工業都市として発展を続けています。



# 20'th フォト・ギャラリー

今年二十周年をむかえた岩沼市との姉妹都市交流。四月に姉妹都市親善協会を設立し、これまで以上にいろいろな交流が行われています。

五月十日の竹駒神社御田植祭に始まり、八月三十一日に中学女子バレーボールチームが岩沼市を訪問、親善試合を行いました。また、八月十三日、十五日に岩沼市から市民八十人余りが来高、軟式野球の試合、まほろば祭りへの参加など、市民同士の交流を深めました。

その他にも姉妹都市岩沼市から小学生サッカーチームを迎えての親善試合も行われました。

今後、岩沼市のふるさと祭りへの参加、青年交流、芸術作品交流などが計画されています。



小野市長以下85人の市民親善交流団が来高、市役所ロビーでの歓迎セレモニー



ほろ酔い気分で...



熱戦をくりひろげた



スポーツでの交流



まほろば祭り会場で



パネルや旗などで岩沼市を紹介したロビー前



- 岩沼市民親善交流団来高にあたり、ご協力いただきありがとうございます。(飯塚啓)
- ビエントOP
- 大原豊栄堂
- 西島園芸店
- はらたいらと世界のオルゴールの館
- 県立厚志民権資料館
- 岩沼市商工会
- 土曜市組合
- 岩沼市軟式野球連盟
- 少年サッカー関係者およびホストファミリーのみなさん
- まほろば祭り関係者
- 龍馬維新大鼓演奏会
- 香南中学校
- 岡豊高校吹奏楽部



岩沼市歓迎セレモニーで岩沼、南国両市歌を演奏してくれた岡豊高校吹奏楽部

## 「市長になって思うこと」

小野光彦岩沼市長講演



八月十三日、市役所大会議室で南国市一日市長として、小野光彦岩沼市長が、講演をしました。

「市長になって思うこと」と題し、出会いの大切さ、実行することが大事だということの話などがあり、会場には小野市長の話に聞き入り、たくさんの方が集まりました。

私はある人から「人の出会い」ということについて教えていただいたことがあります。「因縁」という言葉があります。この「因」と「縁」が交錯すると「縁」に出会いたいという気持ちが出てきます。私たちは数多くの出会いをいつも経験しているはずなんです。ほとんど意識することなく、あるいはお互いに影響し合うことなく、すれ違っただけです。しかし、人生に決定的な意味を持たせてくれたり、価値を与えてくれたり、出会いが本当の出会いなんだそうです。そして出会いというのは偶然というだけで捉えがちですが、そうではなくて一人一人が持っている潜在的

能力とか生き方が出会いを呼び起こしてくれるというのです。その人の持っている人間的な価値の範囲に限られてしか出会いは存在しないという話を聞いていたとき、私は驚きました。

その話をうかがったときに、私は今日、南国市を訪れて、このような形で話しをさせていただけなのは、私が岩沼市長という立場であるからできたことであり、一つ一つの出会いを大切にすることの意味を改めて自分で納得できたような気がしました。そして皆さんと出会い、話しができて、このような機会を与えていただいたことをありがたく思っています。

話が全く変わりますが、去年の成人式の日、ある人の講演が心に残ったので、この話を少しさせてもらいます。

「もし、皆さんが年収一千万円の素敵なハンサムな男性に巡り合ったら結婚したいと思って、ただ何もせずお願ひするだけでは、それは実現はできません。海外旅行にもつれていってもらえるかもしれない、だから英会話を勉強しようとか、その男性に近づきたいように自分自身を磨くためにどう行動をとるか、ということが大切だと思いませんか。目標を持って、その目標を達成するために一つ一つの何をやっていくのかをキチンと決めて、人生を歩むことが大切だということを教えてくれようとしていたんです。

私は市長になりたいと思、そのためには市会議員のとき何をやるかということを決めて、行動をしなければならなかった。

例えば先輩議員からは「この若拙」と言われたこともあり、「二回くじしよう、うるさい」と言おうと思いましたが、一言も発しませんでした。そして二回目の市長選挙のとき、最初の選挙のときは敵方だった彼らが私の応援

に入ってきてくれたんです。だからあのときその感情のまま「うるさい」と言っていたら、きっと先輩議員の方の心のどこかにそのことがずっと残ってしまい、二回目の市長選挙のときも私の味方に入らなかったんじゃないかなと思います。そういうことを意識しながら行動できたから、私は市長になれたのかなと思っています。自分で思い、行動をしていくことが必要であるということをお話していただきました。

無言実行、昔の人は、ただ黙々と働くという感じでした。でも私は市長になって有言実行、ものを言って実行しようじゃないか、積極果敢、自ら進んで積極的に行動しようじゃないかということをお話しています。そして今年つけ加えたのが、発想の転換を広くするということです。今までがこうだったから今年もこうでいい、というのではなく、去年はこうだったけど今年はどうやったらどうか、ということをお話しています。難しいことが発想の転換ではなくて、毎日の自分たちがしている仕事の中でこれでもいいのかということをお話していることが大切であると思います。

最後に私の好きな言葉を贈らせていただきます。「運命を切り開いていくのは己である。強運を作るのもまた自分である。己が一切である。努力がすべてである。そしてやればできる。」